

科学研究費助成事業（特別推進研究）研究進捗評価

課題番号	25000001	研究期間	平成25年度～平成29年度
研究課題名	少子高齢化からみる階層構造の変容と格差生成メカニズムに関する総合的研究		
研究代表者名 (所属・職)	白波瀬 佐和子（東京大学・大学院人文社会系研究科・教授）		

【平成28年度 研究進捗評価結果】

該当欄		評価基準
	A+	当初目標を超える研究の進展があり、期待以上の成果が見込まれる
○	A	当初目標に向けて順調に研究が進展しており、期待どおりの成果が見込まれる
	A-	当初目標に向けて概ね順調に研究が進展しており、一定の成果が見込まれるが、一部に遅れ等が認められるため、今後努力が必要である
	B	当初目標に対して研究が遅れており、今後一層の努力が必要である
	C	当初目標より研究が遅れ、研究成果が見込まれないため、研究経費の減額又は研究の中止が適当である
（評価意見）		
<p>本研究は、急激な少子高齢化に伴う日本の階層構造がどのように変化し、階層格差がいかにか生成されるのかを、大規模社会調査データの分析によって明らかにしようとするものである。</p> <p>当初予定されたSSM本調査及びパネル調査は計画どおり進んでおり、質の高いデータが十分集まってきている。大規模な研究組織もうまく運営されていて、これから調査データを本格的に分析する作業のフェーズに進むことで、実証的で優れた研究成果が期待できる。ただし、特に少子高齢化という主題に関しての一定の理論的な研究成果は、期間内に示せるよう努めてほしい。また、国際発信力の強化について、具体的な計画を立てて、より積極的に進めることを期待する。</p>		